



今月の表紙  
今日はもうありませんが、須美の  
まつざか  
松坂の地に、かつておいなりさん  
がありました。明治になる少し前、  
このおいなりさんをお守りしてい  
たのは信献尼という尼さんでした。  
信献尼さんはとても信心深く、  
おいなりさんの信仰をなんとか広  
めよう、そのためにはまず、本堂  
を建て直そうと一心に働いてみ  
ました。そして、いつからか、こ  
のおいなりさんのお使いの白いき  
つねともお話しできるようになりました。

ある日のことでした。この白いき  
つねが「私は、長い間おいなり  
さんに仕えてきました。けれども  
何の位もないので、村へ出るとい  
つも犬たちに追い回されます。こ  
のことがとても悲しいのです。」  
というではありませんか。この話を  
聞いた信献尼さんは「それは悲  
しいことです。では、京都の  
伏見のおいなりさんにお参りして  
正一位という位を授かってきま  
しょう。そうすれば犬たちももう

今月の表紙  
今日はまだあります。中央公園の桜の木  
に座りながら談笑していた3人の女  
の子です。各所の桜が満開を迎えた  
この日、中央公園は花見に訪れた多  
くの人でにぎわっていました。真っ  
青な空の下で食べるお弁当や花見団  
子つてなんでもなんにおいしいん  
でしょうね☆

# みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課情報G  
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111(内線344)  
FAX63-5139

## こうたの民話

### 「須美のおいなりさん」 須美

今はもうありませんが、須美の  
まつざか  
松坂の地に、かつておいなりさん  
がありました。明治になる少し前、  
このおいなりさんをお守りしてい  
たのは信献尼という尼さんでした。  
信献尼さんはとても信心深く、  
おいなりさんの信仰をなんとか広  
めよう、そのためにはまず、本堂  
を建て直そうと一心に働いてみ  
ました。そして、いつからか、こ  
のおいなりさんのお使いの白いき  
つねともお話しできるようになりました。

ほえることはありません。」  
といってさっそく伏見のおいなり  
さんへの道を急ぎました。信献尼  
さんは、この小ぎつねをふところ  
へ入れていきました。

正一位の位を授かるには、伏見  
のおいなりさんの鳥居を2回跳ぶ  
うちに1回ぴょんと飛び越えなくて  
はなりませんでした。しかし、  
白いきつねはうまく飛び越えられ  
ませんでした。がっかりして泣い  
ている白いきつねに、「1回目が  
うまくいかなかったといって泣い  
ていることがありますか。2回目に  
飛び越えさえすればいいので  
す。絶対に正一位の位を授かるの  
だ。絶対に跳ぶんだと心に決めて  
2回目を跳んでみなさい。」と励  
ました。

2回目、白いきつねは見事に鳥居  
を飛び越えることができました。  
こうして無事に正一位の位を授か  
ることができたのです。

(こうたの民話要約)

## みんなの作品展!

平成23年度健康のまち小中学生作品展からのセ  
レクトです。



幸田中3年  
永井碧さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、  
はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタ  
イトルと作者名(ペンネーム可)をご記入  
のうえ、企画政策課情報Gまでお送りくだ  
さい(デジカメ写真の場合はメールで)。

## 「さなえる」

### 西二河の方言

5月4日は「みどりの日」。  
我が家も緑化活動に大わらわ……  
「まー植えるもんあーへんで、  
こいでしまいだね」  
「まんだはたんきなえてあるだ」  
  
「もう植えるものがないから、  
これで終わりよね」  
「まだ、畑に仮植えしてあるよ」  
「この「さなえる」、辞書を引  
いても出てきません。そこで、  
「早苗」ではないか、と仮説  
を立て調べてみました。  
  
「早苗」とは、田植えの際の  
稻の苗のことですが、語源につ  
いては諸説あり、はつきりして  
いません。でも、機械で植える  
ことができなかつた部分を手で  
植えることを「さしなえ(挿苗)」  
といいますが、ある地方では「さ  
なえ」ということがわかりまし  
た。機械のなかつたころは、す  
べて手植えですので、田植えそ  
のものが「さなえ(挿苗)」だつ  
たとすると、「早苗」は当て字  
ということになります。

「さなえる」も、仮であ  
うが苗を植えることですので、「挿  
苗」なら納得いただけますよ

(文・じろぎ)



やまもと やすひろ  
**山本 泰裕** さん

横落区在住 24歳  
身長 177cm A型

**好きな動物** コアラ（のマーチ）  
**好きなタイプ** イチゴ味

4月から社会人。自由が醍醐味である学生生活はあつという間だった。その生活から学んだことは常に刺激を受けること。そのため自ら動き、固定観念を捨てるこ。そのモチベーションは常に笑顔でいることだ。そんな私は変わった人と言われ、それは“あえて”や“だからこそ”の行動である。異なる考えを認める事が刺激であり、それに笑顔は欠かせない。そして私の笑顔は、度を越えニヤニヤしている。克服にハンサムスーツを着たいが現実はそんなに甘くはない。笑顔とは、相手も明るくなる相乗効果。特に着飾らない笑顔が嫌いな人はいない。そんな笑顔が成長過程の証でもある。この笑顔でまずは10年先を見通し、今を楽しみたい。

## 青春トーカリー

△△第230走者△



## はるー キッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。  
希望者は企画政策課まで。



## わんぱくだより

「某月某日  
～幸田保育園」

### 楽しかつたお別れ遠足

3月8日、幸田保育園では「おぎのさと」へお別れ遠足に行き、ウォーキングリーアーをしました。

幸田保育園は縦割クラスです。異年齢で24チームをつくり、年長児のリーダーに従って各コーナーで課題をクリアして合格シールをもらうというものです。

①伝言ゲーム。簡単な言葉でも途中でまったく変わる

コーナーの内容

②しりとり。順に次の子が言葉をとりみんなで応援する姿も見られました。

③くじ引き。色を始めた言つておき、箱から言った

色を3本以上出すゲーム。

④綱引き。保育士対子ども

で綱を引っ張り合って、子

どもたちの勝ち。

⑤魔法のじゅうたん。チ

ム全員がじゅうたんに乗り

きれるか皆で体をつかみ合

い一体になりました。

⑥かごめかごめ。

後ろの正面の子が「だ

れだ」と言つて当てます。ほぼみ

んな当たり。

不思議な伝言。

⑦歌をうたう。チームで好

きな歌を決めてみんなで合

唱。「にじのむこうに」が

満足の一曲でした。

遊んだ後はおいしい手作

り弁当とおやつを食べて大

きな歌を決めてみんなで合

唱。「にじのむこうに」が

満足の一曲でした。

▼さよならうは